

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分
 【発行日】平成 24 年 9 月 6 日 (2012.9.6)

【公開番号】特開 2011-85594 (P2011-85594A)
 【公開日】平成 23 年 4 月 28 日 (2011.4.28)
 【年通号数】公開・登録公報 2011-017
 【出願番号】特願 2010-269818 (P2010-269818)
 【国際特許分類】

G 0 1 B 11/24 (2006.01)

G 0 6 T 5/20 (2006.01)

【F I】

G 0 1 B 11/24 K

G 0 6 T 5/20 B

【手続補正書】
 【提出日】平成 24 年 7 月 23 日 (2012.7.23)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

データを取得する方法であって、
 光軸に沿って対象物をスキャンすることと、
 横軸に沿って該対象物を同時にスキャンすることと、
 該スキャンし、該同時にスキャンする間において、該対象物の画像データを取得することと、

該取得と同時に該画像データを統合することと、を包含する、方法。

【請求項 2】

前記スキャンすることが、前記対象物の前記光軸と画像面とに沿った相対的な平行移動を提供することを包含する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記同時にスキャンすることが、前記対象物の前記横軸と画像面とに沿った相対的な平行移動を提供することを包含する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記取得することが、電荷結合素子を用いることを包含する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記統合することが、画像プロセッサを用いることを包含する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記統合の後に前記画像のぼけを除去することをさらに包含する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記統合の後に前記画像データを逆畳み込みすることをさらに包含する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

前記画像データの投影と光学上の点像分布関数の投影とから前記対象物の二次元投影を算出することをさらに包含する、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記光軸に沿った前記相対的な平行移動の方向を選択的に変更することをさらに包含する、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 10】

前記同時にスキャンすることが、前記取得に関連した速度に、前記横軸に沿った前記相対的な平行移動を同期させることを包含する、請求項 3 に記載の方法。